

様式71の5

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）、腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）及び腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の施設基準に係る届出書添付書類

1 届出種別（該当するいずれか1つを○で囲むこと）		1：新規届出 2：再度の届出
実績期間 開始年月（和暦で記載すること）		年 月
終了年月（和暦で記載すること）		年 月
届出する項目（該当するいずれか1つを○で囲むこと）		1：子宮体がん 2：子宮頸がん 3：リンパ節群郭清術（傍大動脈）
2 標榜診療科（該当する□に「✓」を記入すること。）		<input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 麻酔科
3 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）を術者として実施した経験を有する常勤医師の氏名等		
常勤医師1	氏名	
	勤務時間	時間
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の術者としての経験症例数	例
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の術者としての経験症例数	例
常勤医師2	氏名	
	勤務時間	時間
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の術者としての経験症例数	例
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の術者としての経験症例数	例
4 当該医療機関における子宮悪性腫瘍に係る手術の年間実施症例数		
子宮悪性腫瘍手術の年間実施症例数		例
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を含む）の年間実施症例数		例
5 産婦人科又は婦人科の常勤医師の氏名等		
常勤医師1	氏名	
	勤務時間	時間
	当該診療科の経験年数	年
常勤医師2	氏名	
	勤務時間	時間
	当該診療科の経験年数	年
常勤医師3	氏名	
	勤務時間	時間
	当該診療科の経験年数	年

6	緊急手術が可能な体制	有 ・ 無
7	常勤の臨床工学技士の氏名	
8	保守管理の計画	有 ・ 無
9	当該医療機関における施設基準の届出状況（該当するいずれか1つを○で囲むこと）	
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）の施設基準	有 ・ 無
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の施設基準	有 ・ 無
	腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）の施設基準	有 ・ 無

[記載上の注意]

- 1 「1」は、特掲診療料施設基準通知第2の4の（3）に定めるところによるものであること。
- 2 「3」及び「5」の常勤医師の勤務時間欄に就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。また、「2」については、術者として実施した当該手術症例一覧を別添2の様式52により添付すること。
- 3 「3」については、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添2の様式52により添付すること。
- 4 「9」については、腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）及び腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の施設基準を届け出る場合に記載すること。
- 5 当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。